

故郷があることの幸せ

昭島市

佐藤光子（東城町二丁目出身）

一昨日、昨日のふるさと交流会、とても楽しい二日間でした。あのように山のすま上越市だということに驚き、ご案内いただいた牧区の成島維紀様の熱心な解説に、知らなかったことが沢山あったことを学び、湯量たっぷりの温泉に身を沈め、おいしい「馳走」楽しい宴会での交流……、それぞれを満喫させていただきました。

どんなにお金を積んでも買うことのないあの秋晴れ！ 見事な紅葉！ 薄原！ 山頂からのうぶすなの地の俯瞰！ まさに、浮世離れの初日でした。

直江津で解散後、折角帰省したのだからと、いつも参加している私たち北城高校の四人組は、寺泊まで足を伸ばして海の幸を堪能しました。わが故郷が、山海の幸に恵まれた自慢の地であることを、今年もまたこの交流会をきっかけに、実

感じ合い、感謝し合ったことでした。

寺泊でもう一泊した関係で、蕎麦打ちした「傑作」を味わうのが、皆様より遅れて今夜になってしまいました。その間、旅館の冷蔵庫に密封状態にして入れ、帰りの道中は、魚市場の水を抱かせて大事に持ち帰り、今夜家族に披露致しました。少しばらばらとしていて、つながりに欠けましたが、お味はパッチリ！「食べてみた？」「美味しかったね！」「精進揚げ、何で作った？」「蕎麦好きの夫が美味しくて。大方、夫の胃袋へ消えてしまったわ！」「今度は、うちでも作ってくれて言うのよ」などなど、食後にメールや電話が行き交いました。

秋の交流会を発案されたという松川様を初め、大変な努力を提供してくださった関係者の皆様に改めて厚くお礼を申し上げます。そして、「こんなに楽しい企画

に、もっと大勢の方々が参加されたいいのね」と言い合い、今からもう「次の企画は何かしら」と楽しみにしている私達なのです。



深山荘よりの眺望